



各 位

平成21年2月10日

会社名 日本工営株式会社
 代表者名 取締役社長 廣瀬典昭
 (コード番号 1954 東証第1部)
 問合せ先 財務・経理部長 本庄直樹
 TEL (03) 3238 - 8040

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年11月10日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成21年3月期通期業績予想数値の修正 (平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日)

(通期連結)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年11月10日発表)	67,000	2,150	2,350	900	11円 16銭
今回修正予想 (B)	64,000	1,450	1,100	50	0円 62銭
増減額 (B - A)	△3,000	△700	△1,250	△850	—
増減率 (%)	△4.5	△32.6	△53.2	△94.4	—
前期 (平成20年3月期) 実績	67,119	2,535	2,307	1,725	20円 80銭

(通期個別)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年11月10日発表)	50,000	750	1,300	500	6円 20銭
今回修正予想 (B)	47,000	100	300	△200	△2円 48銭
増減額 (B - A)	△3,000	△650	△1,000	△700	—
増減率 (%)	△6.0	△86.7	△76.9	—	—
前期 (平成20年3月期) 実績	49,929	1,281	1,344	773	9円 33銭

2. 理 由

世界的な経済環境の急激な悪化は、前回通期業績予想の修正を公表した平成20年11月10日時点の想定を超えるものであり、当社グループの事業環境につきましても、民間企業の設備投資抑制による需要の減退や円高による収益の圧迫などにより、著しく悪化しております。

特に、道路特定財源問題の影響を受けて当社の国内コンサルタント事業の当期受注高は当初の予想を下回る見込みであります。

海外コンサルタント事業においても、受注は継続して好調に推移しているものの、一部の受注案件の売上高計上時期が翌期以降にずれ込む見込みとなっており、また、当社グループが事業を展開する発展途上国の現地通貨に関して、大幅な円高により為替差損が生じております。

以上の状況を踏まえ、売上高を下方修正し、併せて営業利益および経常利益ともに下方修正致します。

また、第3四半期累計期間までに計上した投資有価証券の評価損および会計基準変更による棚卸資産の評価損により、当期純利益につきましても下方修正するものであります。

上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因により予想と異なる場合があります。

以 上